

新型コロナウイルス感染症感染防止ガイドライン

【大会時の感染防止対策】

特に次の対策を実施すること。なお、具体的対策については次の表のとおりとする。

1. 3つの密（密閉・密集・密接）を発生させない
2. 大声での発声、声援や接近した距離での会話等が原則想定されない会場設定
3. 適切な感染防止対策（入場者制限や動線、手指消毒の励行、マスク着用、室内の換気）

項 目	内 容
全般的な事項	<p>①施設管理者と施設利用の方法について事前に十分な打合せを行い必要な措置を講じる。 ※大会会場として学校を使用する場合には、「学校を会場とする場合の留意点」（別紙1）を参照</p> <p>②大会会場に入場できるのは、参加者（生徒、引率者、監督、コーチ及び役員）のみとする。</p> <p>③参加者は大会当日に健康チェックシート（別紙2）の提出を義務づけ、1か月保管しておく。なお、個人情報なので取り扱いには十分に注意する。</p> <p>④参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し周知するとともに、会場内の適切な場所に掲示する。</p> <p>⑤大会期間中、定期的に会場内を巡回し、各事項がきちんと遵守されているか確認する。</p>
参加募集時の対応	<p>①参加者に遵守すべき事項を明確にして協力を求める。また、遵守できない参加者には大会参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあることを事前に周知する。</p> <p>②参加者には健康チェックシートの提出が必要であることを周知する。</p> <p>【健康チェックシート】</p> <p>◎大会当日の健康状態</p> <ul style="list-style-type: none"> ○氏名、年齢、所属、住所、電話番号 ○大会当日の体温 ○大会当日における以下の事項の確認 <p>※アからクの全てに該当しなければ参加を認めない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 平熱を超える発熱がない イ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪の症状がない ウ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がない エ 味覚や嗅覚の異常がない オ 体が重く感じる、疲れやすい等がない カ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がない キ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる者がいない ク 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がない <p>◎大会2週間前からの健康状態</p> <ul style="list-style-type: none"> (ア) 上記アからクの全てに該当する (イ) 上記(ア)以外の場合、具体的な内容を記載

会場での対応	受付	<p>①窓口に手指消毒剤を設置する。</p> <p>②役員がマスクを着用し対応する。</p> <p>③参加者がマスクを準備しているか確認する。</p> <p>④健康チェックシート（別紙２）の内容を確認する。 ※健康チェックシートは参加校引率者が当該校参加者分をとりまとめ受付する。</p> <p>⑤発熱・咳・咽頭痛などの症状がある人の入場を制限する。場合により体温計測などで特定する。</p> <p>⑥窓口付近でのソーシャルディスタンス（おおむね1 mから2 m）の確保に努める。</p>
	手洗い場所 洗面所	<p>①ペーパータオルや手指乾燥器は使用しない。</p> <p>②ハンドソープ（ポンプ型）を使用する。</p> <p>③「手洗いは30秒以上」「マイタオルを使用すること」と掲示する。</p> <p>④手洗いが難しい場合にはアルコール等の手指消毒剤を用意する。</p> <p>⑤「トイレの蓋を閉めて汚物を流してください」と表示する。</p> <p>⑥複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）はこまめに消毒をする。</p>
	更衣室 休憩・待機 スペース	<p>①広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避ける。</p> <p>②ゆとりを持たせることが難しい場合には一度に入室する参加者を制限する。</p> <p>③複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）はこまめに消毒をする。</p> <p>④換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する。</p>
	飲食	<p>①参加者（役員除く）に飲食物の提供は行わない。</p> <p>②昼食場所については、時間差を設けたり場所を分散したりする等の工夫をする。</p> <p>③複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、テーブル、椅子等）はこまめに消毒をする。</p>
	会場	<p>①換気設備を適切に運転する。</p> <p>②定期的に窓を開け外気を取り入れる等の十分な換気を行う。</p> <p>③複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、手すり等）はこまめに消毒をする。</p> <p>④窓を開けることができる環境でも、競技中は遮光の関係で暗幕を閉じる必要があるが、セット間など定期的に開放して外気を取り入れる等の換気を行う。</p>
	応援	<p>①応援者のソーシャルディスタンス（おおむね1 mから2 m）の確保に務める。</p> <p>②大きな声での会話や応援はしないよう周知する。</p>
	会場清掃 ゴミの廃棄	<p>①会場清掃・消毒やゴミの処理方法について施設管理者の指示に従い対応する。</p> <p>②参加者のゴミは原則持ち帰りとし、その旨を掲示する。</p> <p>③清掃時に回収したゴミは全てビニール袋に入れ密閉して縛り、回収する人はマスク、手袋を必ず着用する。</p> <p>④借用した物品については、全て消毒を行い返却する。</p> <p>⑤ゴミの処理後は必ず手洗い、手指消毒をする。</p>

主催者が準備・配慮すべき事項	競技備品類	<p>①試合球はできるだけ複数個用意し、こまめに消毒・清掃を行って交換しながら使用する。</p> <p>②線審のフラッグ、得点板、モップ等、試合で使用する備品類のこまめな消毒など衛生対応に留意する。</p> <p>③審判員の笛（私物）についても、唾液の付いた状態での放置を避けるなど、不慮の接触を避けるため留意を求める。（※電子ホイッスル等の活用）</p> <p>④主催者は、感染対策とともに熱中症のリスクにも備える。マスクを着用していると水分補給を忘れてしまうことがあるので、こまめに水分補給する。役員や競技補助役員の試合中におけるマスクの着用については、主催者側で柔軟に対応する。</p>
	運営の簡略化	<p>①コイントス時、キャプテンと審判間のあいさつや試合前後の握手に関して、当面は一礼などでこれに代える。</p> <p>②開・閉会式、表彰式などでは、参加者が密になる状態を避けるため、式典参加者の数を減らす、内容を簡略化するなど、必要性に応じて柔軟に対応する。</p>
	競技中の注意事項	<p>①体育館内でのバレーボール大会については、当面の間、試合用コート1日1面当たり2チームを超えない範囲での参加に限る。</p> <p>②セットごとの換気など適切な感染防止対策を実施する。</p> <p>③試合前の円陣や、ベンチでの集合時においてもできるだけ密集・接触を避ける。</p> <p>④試合中のハイタッチは腕のタッチにとどめる。</p> <p>⑤ネット際などで、相手に向いた状態での発声は控える。</p> <p>⑥タオル、水ボトル、アイシングバックなどの共用禁止。</p> <p>⑦競技に携わるスタッフ（モッパー、サンドレベラー、レトリバーなど）の注意事項も明確にしておく。</p>